

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年6月4日(2009.6.4)

【公開番号】特開2001-87491(P2001-87491A)

【公開日】平成13年4月3日(2001.4.3)

【出願番号】特願平11-268479

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月17日(2009.4.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】 表示状態が変化可能な可変表示装置を含み、前記可変表示装置の表示結果が特定の表示態様となった場合に遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御可能な遊技機であって、

前記遊技機の遊技状態を制御する遊技制御手段と、

遊技状態に応じて音と光りによる演出を行なう演出手段と、

前記可変表示装置を可変表示させた後表示結果を導出表示させる制御を行なう可変表示制御手段と、

前記演出手段を制御させる演出制御手段とを備え、

前記遊技制御手段は、

前記可変表示装置の表示結果を決定するための表示結果決定手段と、

前記可変表示装置の可変表示内容を決定するための可変表示内容決定手段とを含み、

前記表示結果を特定する表示結果コマンドと前記可変表示内容を特定する表示内容コマンドとを前記可変表示制御手段に出力し、

前記可変表示制御手段は、前記表示内容コマンドのみからは特定されない表示演出である特定表示ファクタを、前記表示結果コマンドと前記表示内容コマンドとの組合せを基に導き出す特定表示ファクタ導出手段を含み、

前記演出制御手段は、前記可変表示内容決定手段の決定内容のみからは特定されない演出内容である特定演出ファクタを、前記表示結果決定手段の決定内容と前記可変表示内容決定手段の決定内容との組合せを基に導き出す特定演出ファクタ導出手段を含み、

前記特定表示ファクタと前記特定演出ファクタとは、互いに所定の対応関係を有するよう决定されることを特徴とする、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

上述の目的を達成するためにこの発明のある局面に従うと、請求項1に記載の発明は、表示状態が変化可能な可変表示装置を含み、前記可変表示装置の表示結果が特定の表示態様となった場合に遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御可能な遊技機であって、

前記遊技機の遊技状態を制御する遊技制御手段と、
遊技状態に応じて音と光りによる演出を行なう演出手段と、
前記可変表示装置を可変表示させた後表示結果を導出表示させる制御を行なう可変表示制御手段と、

前記演出手段を制御させる演出制御手段とを備え、
前記遊技制御手段は、

前記可変表示装置の表示結果を決定するための表示結果決定手段と、

前記可変表示装置の可変表示内容を決定するための可変表示内容決定手段とを含み、

前記表示結果を特定する表示結果コマンドと前記可変表示内容を特定する表示内容コマンドとを前記可変表示制御手段に出力し、

前記可変表示制御手段は、前記表示内容コマンドのみからは特定されない表示演出である特定表示ファクタを、前記表示結果コマンドと前記表示内容コマンドとの組合せを基に導き出す特定表示ファクタ導出手段を含み、

前記演出制御手段は、前記可変表示内容決定手段の決定内容のみからは特定されない演出内容である特定演出ファクタを、前記表示結果決定手段の決定内容と前記可変表示内容決定手段の決定内容との組合せを基に導き出す特定演出ファクタ導出手段を含み、

前記特定表示ファクタと前記特定演出ファクタとは、互いに所定の対応関係を有するように決定されることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

可変表示制御手段に含まれる特定表示ファクタ導出手段の働きにより、表示内容コマンドのみからは特定されない表示演出である特定表示ファクタが、前記表示結果コマンドと前記表示内容コマンドとの組合せを基に導き出される。演出制御手段に含まれる特定演出ファクタ導出手段の働きにより、可変表示内容決定手段の決定内容のみからは特定されない演出内容である特定演出ファクタが、前記表示結果決定手段の決定内容と前記可変表示内容決定手段の決定内容との組合せを基に導き出される。前記特定表示ファクタと前記特定演出ファクタとは、互いに所定の対応関係を有するように決定される。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0188

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0188】

図20のステップS904で、変動開始コマンドと確定図柄指定コマンドとに基づき変動パターンを決定して可変表示装置を表示制御する表示制御基板80により、前記表示内容コマンドのみからは特定されない表示演出である特定表示ファクタを、前記表示結果コマンドと前記表示内容コマンドとの組合せを基に導き出す特定表示ファクタ導出手段が構成されている。図9のステップ29で音ランプ演出を実行する遊技制御基板31により、前記可変表示内容決定手段の決定内容のみからは特定されない演出内容である特定演出ファクタを、前記表示結果決定手段の決定内容と前記可変表示内容決定手段の決定内容との組合せを基に導き出す特定演出ファクタ導出手段が構成されている。図14に示す大当たり時の演出パターン振分けテーブル、図15に示すハズレ時演出パターン振分けテーブルを用いて変動パターンおよび音ランプの演出パターンを決定することにより、前記特定表示ファクタと前記特定演出ファクタとは、互いに所定の対応関係を有するように決定される構成が示される。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 9 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 9 7】

また、前記演出制御手段は、前記可変表示内容決定手段の決定内容のみからは特定されない演出内容である特定演出ファクタを、前記表示結果決定手段の決定内容と前記可変表示内容決定手段の決定内容との組合せを基に導き出す特定演出ファクタ導出手段を含み、前記特定表示ファクタと前記特定演出ファクタとは、互いに所定の対応関係を有するよう前に決定されるので、前記可変表示制御手段で表示制御される特定表示ファクタと前記演出制御手段で制御される特定演出ファクタとのタイミングおよび内容が整合されたものとすることができる。